

学校部活動の地域移行等に関するアンケート
調査結果報告書

令和7年1月
幕別町

目 次

調査結果概要	1
--------	---

個別結果

小学校5年生・6年生	10
小学生保護者	19
小学校教職員	36
中学校1年生～3年生	42
中学生保護者	58
中学校教職員	75
幕別清陵高校教職員	91
運動・スポーツ、文化芸術関係団体	105

学校部活動の地域移行等に関するアンケート調査結果(概要)

1 調査概要

○ 調査目的

町内小中学校の児童生徒と保護者及び教職員、運動・スポーツ及び文化芸術関係団体に対し、少年団やスポーツクラブ等の活動、部活動の実態把握と部活動の地域移行等に向けた取組を検討する基礎資料とするため、アンケート調査を実施する。

○ 調査設計

(1) 調査対象及び調査方法

対象	調査方法
小学校5・6年生	学習用端末(chromebook)を活用して、Googleフォームで回答
中学校1～3年生	
上記小学校保護者	回答用QRコード入り文書を配布し、Googleフォームで回答(調査票の配布による回答も可)
上記中学校保護者	
小学校教職員	
中学校教職員	
幕別清陵高校教職員	
運動・スポーツ、 文化芸術関係団体	

(2) 調査期間 令和6年7月23日(火)～8月9日(金)

※幕別清陵高校教職員 令和6年9月2日(月)～9月10日(火)

○ 調査回答数

対象	対象者数	回答数	回答率
小学校5・6年生	437人	319人	73.0%
中学校1～3年生	713人	644人	90.3%
上記小学校保護者	437人	183人	41.9%
上記中学校保護者	713人	210人	29.5%
小学校教職員	142人	76人	53.5%
中学校教職員	92人	65人	70.7%
幕別清陵高校教職員	33人	17人	51.5%
運動・スポーツ、 文化芸術関係団体	112団体	45団体	40.2%

○ 集計方法

- ・ 結果数値は小数点第2位を四捨五入していますので、合計で100%とならない箇所があります。
- ・ 複数回答の項目における割合(%)については、回答者数を分母として集計しています。

2 主な調査結果

(1) 部活動等の加入状況とその理由、部活動に期待すること

小学生

問8 中学生になったら、やってみたいと思う活動

項目	回答数	割合
学校部活動	168人	52.7%
学校部活動+学校以外の活動	36人	11.3%
学校以外の活動	32人	10.0%
活動したいと思わない	12人	3.8%
まだわからない	71人	22.3%
【回答総数】	319人	

問10 その活動でがんばりたいこと
(複数回答)

項目	割合
うまくなる	69.9%
良い成績をとる	43.2%
友達と仲良く楽しむ	56.4%
いろいろな活動にチャレンジする	23.3%
【回答総数】	236人

中学生

問3 現在、運動やスポーツ、文化芸術などの活動

項目	回答数	割合
学校部活動	430人	66.8%
学校部活動+学校以外の活動	50人	7.8%
学校以外の活動	82人	12.7%
何も行っていない	82人	12.7%
【回答総数】	644人	

問5 部活動の加入理由(複数回答)
【上位5項目】

項目	割合
中学校でやってみたい競技	39.4%
小学生からやっている競技	32.1%
友達と一緒にできる	31.0%
体力・技術を高めたい	24.4%
周囲の人に勧められた	18.0%
【回答総数】	480人

問10 部活動以外の教室・スポーツクラブの加入理由(複数回答)
【上位5項目】

項目	割合
小学生からやっている競技	71.2%
体力・技術を高めたい	37.1%
良い成績をとりたい	21.2%
専門指導者がいる	10.6%
友達と一緒にできる	9.8%
【回答総数】	132人

小学生保護者 問6、中学生保護者 問5【共通】

学校部活動に加入する場合、中学校の部活動に期待すること（どちらも複数回答）

項目	保護者	
	小学校	中学校
技術力の向上	30.6%	34.8%
継続力・忍耐力の向上		53.2%
体力向上や健康増進	54.6%	64.6%
礼儀作法が身につく	53.6%	53.8%
努力の大切さを学ぶ	65.6%	54.4%
達成感の獲得	54.6%	41.1%
責任感・連帯感を養う	42.6%	40.5%
良い成績をおさめる	12.0%	8.9%
友達・仲間が増える	66.7%	74.7%
本人の楽しみが増える	71.0%	38.6%
【回答総数】	183人	158人

※網掛け：上位5項目

- ▶ 小学生は、中学生になって学校の部活動や学校以外の活動を行うかまだ決まっていない人もいますが、大多数は学校の部活動や学校以外の活動に参加する意向を示しています。また、これらの活動を通して、技術の上達や友達との楽しみを期待しています。
- ▶ 中学生が学校の部活動や学校以外の活動に参加する理由としては、中学校から始めてみたい競技や、小学生の頃から続けている競技であることが多いです。その中で、体力や技術を向上させたり、友達と一緒に楽しんだりする意向がうかがわれます。
- ▶ 保護者は、部活動における勝利至上主義的な活動を望む意見は少なく、友達や仲間との交流を通じて、体力の向上や精神的な成長を期待しています。

(2) 部活動に入りたくない理由と入ってみたい条件

小学生

問11 部活動やスポーツクラブ等に参加したくない理由（複数回答）【上位5項目】

項目	割合
興味がない	50.0%
やりたいことがない	41.7%
勉強と両立の心配	41.7%
面倒だから	41.7%
練習や人間関係が心配	25.0%
お金がかかる	25.0%
【回答総数】	12人

中学生

問14 部活動やスポーツクラブ等に参加したくない理由（複数回答）
【上位5項目】

項目	割合
勉強と両立の心配	40.2%
やりたいことがない	32.9%
練習や人間関係が心配	25.6%
興味がない	23.2%
面倒だから	18.3%
【回答総数】	82人

問15 スポーツ・文化芸術活動を行って
みたい条件（複数回答）
【上位5項目】

項目	割合
自分のペースで参加	74.4%
気軽に緩やかな活動	41.5%
お金がかからない	22.0%
専門的な指導者や活動場所が 整っている	18.3%
同レベルで真剣勝負ができる	17.1%
【回答総数】	82人

- ▶ 小学生児童が中学生になって学校の部活動や学校外の活動に参加したくない理由として、「やりたいことがない」や「興味がない」といった意見が多くありました。また、中学生においても、学校の部活動や学校外の活動に参加したくない理由として、「やりたいことがない」や「興味がない」という意見がありましたが、それに加えて「勉強との両立の心配」という意見も多くありました。
- ▶ スポーツや文化芸術活動を行いたいと思うためには、自分のペースで参加できることや、気軽に緩やかな活動を望む声が多いです。

(3) 部活動の地域移行の認知度

小学生保護者 問8、中学生保護者 問9【共通】

学校部活動の地域移行を知っていますか。

項目	小学生保護者		中学生保護者	
	回答数	割合	回答数	割合
内容を知っている	81人	44.3%	109人	51.9%
名前は聞いたことがある	64人	35.0%	77人	36.7%
全く知らない	38人	20.8%	24人	11.4%
【回答総数】	183人		210人	

※網掛け：上位1項目

- 学校の部活動の地域移行について、小学校の保護者、中学校の保護者ともに内容を知っている人が多いですが、「名前は聞いたことがある」と「全く知らない」を合わせると、半数近くに達します。今後、保護者に対して、学校の部活動の地域移行についての理解を深める必要があります。

(4) 地域移行への期待

小学生保護者 問15、中学生保護者 問16、小学校教職員 問5、中学校教職員 問13
清陵高校教職員 問13、関係団体 問3【共通】

休日の学校部活動が地域移行することへの期待は（どちらも複数回答）

項目	保護者		教職員			関係団体
	小学校	中学校	小学校	中学校	清陵高	
専門知識や技術の向上	49.2%	60.5%	40.8%	26.2%	29.4%	33.3%
設備が整った場所での練習	38.8%	38.6%	22.4%	24.6%	58.8%	22.2%
子どもの興味に応じて、部活動にない活動の選択	53.6%	45.7%	56.6%	53.8%	47.1%	62.2%
他校の生徒との交流	36.6%	38.1%	22.4%	21.5%	41.2%	26.7%
部活動顧問の負担軽減	33.9%	46.2%	90.8%	76.9%	70.6%	71.1%
【回答総数】	183人	210人	76人	65人	17人	45団体

※網掛け：上位3項目

- 地域移行することへの期待として、「子どもの興味に応じて、部活動にない活動を選択できること」や「専門知識や技術の向上」が保護者・教職員・関係団体から共通して多く挙げられており、学校の部活動では難しい活動の幅や深さが求められています。また、中学校の保護者、教職員、関係団体からは「部活動顧問の負担軽減」も多く挙げられています。

(5) 地域移行への心配や課題

中学生 問19

休日の学校部活動が地域移行することへの心配（どちらも複数回答）

項目	中学生
部活動でないことへの不安	17.1%
部活動との指導の違い	34.2%
指導者や他校生徒との人間関係	32.3%
会費等の経済的な負担	20.3%
活動場所までの移動手段	27.1%
特になし	37.7%
【回答総数】	462人

※網掛け：上位3項目

小学生保護者 問17、中学生保護者 問17、小学校教職員 問6、中学校教職員 問14
清陵高教職員 問14、関係団体 問4【共通】

休日の学校部活動が地域移行することへの課題（どちらも複数回答）

項目	保護者		教職員			関係団体
	小学校	中学校	小学校	中学校	清陵高	
団体・指導者の確保	55.2%	52.9%	84.2%	86.2%	64.7%	88.9%
部活動との指導の違い	33.3%	35.7%	43.4%	60.0%	47.1%	44.4%
指導者の質や指導方法	33.3%	33.8%	43.4%	44.6%	35.3%	40.0%
生徒が継続できる活動	23.5%	21.9%	7.9%	21.5%	23.5%	24.4%
会費等の経済的負担	45.4%	40.0%	26.3%	50.8%	23.5%	48.9%
移動手段や送迎の負担	59.6%	54.8%	56.6%	60.0%	76.5%	60.0%
事故やトラブルの対応	19.1%	23.8%	40.8%	53.8%	47.1%	37.8%
他校生徒との人間関係	13.1%	13.8%	21.1%	20.0%	23.5%	17.8%
特定団体に人数が集中	6.0%	9.0%	14.5%	13.8%	5.9%	17.8%
【回答総数】	183人	210人	76人	65人	17人	45団体

※網掛け：上位3項目

- 中学生が地域移行することへの心配としては、「部活動との指導の違い」や「指導者や他校生徒との人間関係」が多く挙げられています。部活動の地域移行を進めていくうえで、今までとは異なる活動への不安が見受けられます。
- 部活動の地域移行を進めるうえで、生徒を支える保護者、教職員、地域移行の受け皿となる関係団体から、「団体や指導者の確保」や「移動手段や送迎の負担」が共通して課題であると多く挙げられているほか、部活動の顧問や指導を行っている教職員からは「部活動との指導の違い」、保護者からは「会費等の経済的な負担」が課題として多く挙げられています。

(6) 地域のスポーツクラブや文化団体等が運営する教室の参加費（月額）負担許容額

小学生保護者 問13、中学生保護者 問14【共通】

地域のスポーツクラブや文化団体等が運営する教室に参加する場合、参加費（月額）はいくらまで負担できるか

項目	保護者	
	小学校	中学校
～1,999円	17.4%	28.6%
2,000円～3,999円	37.6%	34.0%
4,000円～5,999円	36.7%	27.9%
6,000円～7,999円	2.8%	4.8%
8,000円～9,999円	2.8%	3.4%
10,000円～	2.8%	1.4%
【回答総数】	109人	147人

※網掛け：上位2項目

▶ 小学生保護者、中学生保護者ともに、参加費（月額）負担許容額は「2,000円～3,999円」、「4,000円～5,999円」が多く挙げられています。

(7) 地域移行における指導者従事

小学校教職員 問1、中学校教職員 問9、清陵高教職員 問9【共通】

休日の学校部活動が地域移行した場合、子どもたちのスポーツや文化芸術活動の指導に従事したいか

項目	小学校教職員	中学校教職員	清陵高教職員
従事したい	1人	7人	2人
勤務条件、報酬によって検討	7人	10人	7人
従事したくない	39人	30人	2人
現段階ではわからない	29人	18人	6人
【回答総数】	76人	65人	17人

小学校教職員 問3、中学校教職員 問11、清陵高教職員 問11【共通】

（「従事したい」、「勤務条件、報酬によって検討」と答えた方に）どのような競技・種目の指導をしたいですか（複数回答）

項目	小学校教職員	中学校教職員	清陵高教職員
野球	1人	3人	1人
サッカー	4人	1人	1人
バスケットボール	1人	1人	1人
バレーボール	1人	4人	
バドミントン	1人	1人	2人
卓球		1人	
テニス		4人	
陸上	1人	1人	2人
アイスホッケー	1人		
スキー	2人		
吹奏楽			1人
ピアノ、エレクトーン			1人
書道	1人		
演劇		1人	
アーチェリー		1人	
模型などのものづくり			1人
合唱			1人
軽音楽			1人
【回答総数】	8人	17人	9人

- ▶ 小学校教職員、中学校教職員はほぼ半数が「従事したくない」と回答しています。その一方で、「現段階ではわからない」と回答も多く、部活動地域移行のイメージが固まっていないため、判断できないものと推察します。
- ▶ 指導したい競技・種目として、「野球」、「サッカー」、「バスケットボール」、「バレーボール」、「バドミントン」、「テニス」、「陸上」、「スキー」と回答した方が2人以上いました。他の競技・種目においても、今後、教職員だけではなく、地域の方で指導できる方を増やしていくことも必要となります。